

2015 年 高齢者特別清掃事業登録者及び
あいりんシェルター利用者調査
報告書

NPO 法人 釜ヶ崎支援機構

2016 年 12 月

高齢者特別清掃事業登録者及びあいりんシェルター利用者調査報告

大阪市西成区の釜ヶ崎／あいりん地域の、高齢者特別清掃事業及びあいりんシェルターにおいて、その主な利用者の実態調査を行う。多くの対象者は、社会的保障を十分に受けられず生活困窮する中、釜ヶ崎／あいりん地域における日雇労働者・ホームレス生活者支援事業の一部を活用して生活をしのぐ人たちである。就労支援や生活支援など、様々なメニューが模索されるなか、そこにつながるまでのベースの支援における課題を、一步踏み込んだ新たな社会再統合のニーズとして明らかにしていく基礎調査となる。特に、高齢期における就労と福祉の複合的サービスのあり方と、安定した地域生活を可能とするまちづくりの課題について検討していく。

調査対象者

- ・ 特掃利用者（高齢者特別清掃事業） 711 票
- ・ シェルター利用者（あいりんシェルター） 109 票

調査方法

- ・ 調査票に基づく聞き取り調査

調査日

- ・ 特掃調査 2015 年 2 月
- ・ シェルター調査 2015 年 6 月

実施：NPO 法人釜ヶ崎支援機構

調査委託：(有) 地域・研究アシスト事務所

I 単純集計

1. 過去にいちばん長くついていた仕事は何ですか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
建設技能職従事者	56	7.9	8.2	16	14.7	14.7
建設作業従事者	318	44.7	46.6	39	35.8	35.8
港湾労働従事者	13	1.8	1.9	2	1.8	1.8
工場労働従事者	87	12.2	12.8	26	23.9	23.9
清掃・警備従事者	27	3.8	4.0	1	0.9	0.9
運輸・通信従事者	31	4.4	4.5	4	3.7	3.7
事務・営業従事者	38	5.3	5.6	2	1.8	1.8
サービス業従事者	43	6.0	6.3	10	9.2	9.2
販売従事者	11	1.5	1.6	3	2.8	2.8
労務・運搬作業従事者	9	1.3	1.3	3	2.8	2.8
その他	41	5.8	6.0	2	1.8	1.8
職業なし	8	1.1	1.2	1	0.9	0.9
合計	682	95.9	100.0	109	100.0	100.0
無回答	29	4.1				
合計	711	100.0				

特掃、シェルターの両調査とも「建設作業従事者」が最も多く、特掃では46.6%、シェルターは35.8%である。「建設作業従事者」と「建設技能従事者」を合わせた建設関係の仕事ではともに5割以上となっている。次いで「工場労働従事者」で特掃調査12.8%、シェルター調査23.9%であった。また、特掃調査の「その他」には複数業種を回答した27ケースが含まれる。

仕事内容の傾向としては、建設関係で技能を持っているか否かで差が出たものの、特掃、シェルターで大きな違いは見られない。

2. そのとき、どのような立場で仕事をしていましたか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
正社員	210	29.5	31.1	46	42.2	43.0
契約・嘱託社員	79	11.1	11.7	10	9.2	9.3
派遣（日雇除く）	39	5.5	5.8	6	5.5	5.6
パート・アルバイト	22	3.1	3.3	5	4.6	4.7
自営業	31	4.4	4.6	1	0.9	0.9
日雇労働	279	39.2	41.3	38	34.9	35.5
無職	10	1.4	1.5	1	0.9	0.9
その他	5	0.7	0.7	0	0.0	0.0
合計	676	95.1	100.0	106	97.2	100.0
無回答	36	5.1		2	1.8	
合計	711	100.0		109	100.0	

最長職時の雇用形態は、特掃調査では「日雇労働」41.3%、「正社員」31.1%、シェルター調査では「正社員」43.0%、「日雇労働」35.5%である。

この逆転は、建設技能職従事者の場合は、特掃・シェルターともに3割前後が正社員であるのに対し、建設作業従事者は1割に満たないため、建設技能職従事者が多くいたシェルターの正社員歴が高くなっている。

3. 一番長い無職の期間（特掃で働いた期間は含まない）はどれくらいですか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
1年未満	68	9.6	11.3	36	33.0	34.6
1～2年未満	85	12.0	14.2	11	10.1	10.6
2～4年未満	96	13.5	16.0	11	10.1	10.6
4～6年未満	70	9.8	11.7	14	12.8	13.5
6～8年未満	41	5.8	6.8	6	5.5	5.8
8～10年未満	19	2.7	3.2	2	1.8	1.9
10～20年未満	141	19.8	23.5	22	20.2	21.2
20年以上	80	11.3	13.3	2	1.8	1.9
合計	600	84.4	100.0	104	95.4	100.0
無回答	111	15.6		5	4.6	
合計	711	100.0		109	100.0	

平均（月）

	特掃	シェルター
有効	600	104
欠損値	111	5
平均値	100.1	56.8
中央値	60.0	30.0
標準偏差	107.1	65.0
最小値	0	0
最大値	600	240

最長の無職期間は、特掃調査では「10～20年未満」23.5%、「1～2年未満」14.2%（平均：100.1ヶ月）、シェルター調査では「1年未満」34.6%、「10～20年未満」21.2%（平均：56.8ヶ月）である。

4年～20年未満の分布は、特掃・シェルターで似ている傾向を示すが、中・短期では、特に1年未満の人はシェルターに集中し、1年～4年未満は徐々に特掃に移行しているものと思われる。一方で、10年以上が特掃で3割、シェルターで2割ほどおり、20年以上というかなりの長期間にわたって無職状態という人も、特掃利用者の1割を占める。就労困難な層も二極化する傾向が読み取れる。

4. ここ1ヶ月で、どのようなお仕事をされましたか（複数回答可）

	特掃		シェルター	
	回答数	%	回答数	%
a. 特別清掃	711	100.0	47	52.2
b. 日雇	153	21.5	27	30.0
c. 廃品回収	135	19.0	25	27.8
d. パート・アルバイト、派遣（日雇除く）	38	5.3	5	5.6
e. その他	28	3.9	5	5.6
合計	1065	149.8	109	121.1

N=711

N=90

各仕事（a.～e.）の1ヶ月あたりの収入平均等¹

	a. 特別清掃		b. 日雇		c. 廃品回収	
	特掃	シェルター	特掃	シェルター	特掃	シェルター
有効	539	47	129	23	115	25
欠損値	172	62	582	86	596	84
平均値	27,878	26,007	45,816	82,913	20,369	21,760
中央値	30,000	28,500	40,000	70,000	15,000	25,000
標準偏差	5,777	7,497	30,909	60,974	19,178	12,897
最小値	1,700	5,500	7,000	8,000	1,000	3,000
最大値	39,400	36,000	200,000	200,000	130,000	45,000
	d. パート・アルバイト、派遣（日雇除く）		e. その他		勤労収入合計	
	特掃	シェルター	特掃	シェルター	特掃	シェルター
有効	25	3	7	4	522	87
欠損値	686	106	704	105	189	22
平均値	48,840.0	46,833.3	18,142.9	71,750.0	44,186.5	47,136.2
中央値	50,000.0	15,000.0	15,000.0	31,000.0	31,650.0	30,000.0
標準偏差	28,590.0	63,542.0	13,322.0	85,609.1	32,741.8	44,687.6
最小値	4,000	5,500	0	25,000	1,700	3,000
最大値	100,000	120,000	40,000	200,000	351,000	200,000

ここ1ヶ月で何らかの勤労収入を得た人の仕事内容は、シェルター調査では「特別清掃」52.2%、「日雇」30.0%で、約半数以上が特掃の経験者であることがわかる。特掃調査では特別清掃以外では「日雇」21.5%が多かった。また、廃品回収の割合は、シェルターの方が多い。

平均勤労収入は特掃調査44,186.5円、シェルター調査47,136.2円である。仕事別に見ると、特掃と廃品回収は2万円台で、日雇、パート・アルバイトは4万円以上となる。

特に、シェルター利用者は、日雇で平均8万円ほどと比較的高い収入を得ているが、簡易宿所等に常時泊まれるほど余裕がない層だと想定される。

なお、ここ1ヶ月でまったく仕事をしていない人はシェルター調査で19人（17.4%）である。

¹ 特別清掃の収入が4万円以上のケースについては、一律3万円とし、差額をその他の勤労収入に振り分けた。

5. 現在、仮に仕事ができるとすればどのような仕事をしたいですか。あるいはどのような仕事ならできると思いますか（複数回答可）

	特掃		シェルター	
	回答数	%	回答数	%
1. 内職	31	4.9	3	3.0
2. 農作業	61	9.6	8	8.0
3. 清掃作業	329	51.6	33	33.0
4. 除草作業	149	23.4	9	9.0
5. リサイクル業（アルミ缶・家電収集、自転車リサイクルなど）	95	14.9	13	13.0
6. 表現・芸術	12	1.9	4	4.0
7. 飲食（喫茶店・居酒屋）	24	3.8	6	6.0
8. ものづくり（手工芸や大工仕事など）	32	5.0	9	9.0
9. その他軽作業	112	17.6	23	23.0
10. できない	34	5.3	15	15.0
11. その他	24	3.8	21	21.0
合計	903	141.5	144	144.0

N=638

N=100

「清掃作業」が特掃調査 51.6%、シェルター調査 33.0% と両調査で最も多い。次いで特掃調査では「除草作業」23.4%、特掃調査では「その他軽作業」23.0% である。また、「できない」と回答した割合は、特掃調査 5.3% に対しシェルター調査 15.0% となった。

特掃を利用している人は、特掃の仕事内容である清掃作業と除草作業の割合を合わせると 7 割以上と高く、ある意味で具体的なできる仕事のイメージが持っている。しかし、シェルターではその他軽作業が 2 割で、さらにできないを加えると 4 割弱になり、具体的な仕事のイメージを持っていない傾向が読み取れる。一方で、その他の割合も 2 割ほどと高く、回答にはガードマン、建設・土木業、工場労働などで、直近の仕事が挙げられていると考えられる。

全体的に、身近に仕事をしている、あるいは最近していたものを挙げる傾向があり、新たに仕事を自ら見つけ出すことの困難さもうかがえる。

6. ここ1ヵ月で、仕事以外の収入はありますか

	特掃		シェルター	
	回答数	%	回答数	%
a. 年金（有無）	122	93.1	7	70.0
b. 生活保護（有無）	0	0.0	2	20.0
c. その他収入（有無）	9	6.9	2	20.0
合計	132	100.8	11	110.0

N=131 N=10

	a. 年金		b. 生活保護	
	特掃	シェルター	特掃	シェルター
有効	120	7		2
欠損値	591	102		107
平均値	69,491.7	60,357.1		120,000.0
中央値	70,000.0	60,000.0		120,000.0
標準偏差	37,425.1	31,038.6		0.0
最小値	15,000	7,500		120,000
最大値	381,000	110,000		120,000

	c. その他収入		仕事以外の収入合計	
	特掃	シェルター	特掃	シェルター
有効	5	2	267	10
欠損値	706	107	444	99
平均値	30,800.0	135,000.0	32,295.9	93,250.0
中央値	30,000.0	135,000.0	0.0	80,000.0
標準偏差	17,767.9	162,634.6	44,290.0	65,341.5
最小値	5,000	20,000	0	7,500
最大値	55,000	250,000	381,000	250,000

ここ1ヵ月で仕事以外の収入があった人は特掃調査131人、シェルター調査10人で、両調査とも「年金」が最も多く、特掃調査93.1%、シェルター調査70.0%である。

その他の収入には、生活保護や失業保険、子どもからの仕送りなどがある。また仕事以外の合計収入の平均金額は、特掃調査32,295.9円、シェルター調査93,250.0円となった。

なお、仕事以外の収入がないと回答した人は特掃調査49人（6.9%）、シェルター調査99人（90.8人）である。

シェルター利用者は、仕事以外の収入がない傾向が強く出た。特掃では利用者全体の17%ほどが年金を受給しており、シェルターと比べて制度につながっている状況が推察できる。

7. いま、全体でどのくらいの収入があれば、野宿の心配をせずに暮らせると思いますか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
7万円	117	16.5	18.3	20	18.3	19.6
9万円	103	14.5	16.1	15	13.8	14.7
11万円	118	16.6	18.5	22	20.2	21.6
13万円	118	16.6	18.5	14	12.8	13.7
15万円	117	16.5	18.3	19	17.4	18.6
17万円	20	2.8	3.1	4	3.7	3.9
19万円	9	1.3	1.4	1	0.9	1.0
21万円	36	5.1	5.6	7	6.4	6.9
合計	638	89.7	100.0	102	93.6	100.0
無回答	73	10.3		7	6.4	
合計	711	100.0		109	100.0	

野宿の心配がないと本人が思える収入金額は、両調査とも11万円が一番多く、15万円以下に回答が集中した。特掃調査では「11万」「13万」18.5%、「7万」「15万」18.3%、シェルター調査では「11万」21.6%、「7万」19.6%、「15万」18.6%である。特掃調査では7～15万円の割合がほぼ同じ値となった。

生活保護費の基準額に近い数字であり、平均勤労収入は特掃調査44,186.5円、シェルター調査47,136.2円から比べると、単純に比較はできないものの6万ほどさらに収入があれば、安定した生活ができる自信につながると考えられる。

8-1. 生活保護（居宅保護）を受給し、地域（アパート等）で生活したことはありますか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
なし	502	70.6	88.5	85	78.0	78.0
ある	65	9.1	11.5	24	22.0	22.0
合計	567	79.7	100.0	109	100.0	100.0
無回答	144	20.3				
合計	711	100.0				

生活保護受給経験がある割合は、特掃調査11.5%、シェルター調査22.0%である。

8-2. 生活保護（居宅保護）を受けたことがあるのは、いつですか

	特掃		シェルター	
	回答数	%	回答数	%
～6ヵ月	13	44.8	4	20.0
～1年	3	10.3	5	25.0
～1年6ヵ月	5	17.2	2	10.0
～2年	3	10.3	2	10.0
～2年6ヵ月	3	10.3	2	10.0
～3年	2	6.9	3	15.0
3年～	3	10.3	5	25.0
合計	32	110.3	23	115.0

N=29

N=20

※生活保護受給者のうち、特掃29人、シェルター20人から保護受給期間について回答を得られ、1人で複数回の受給歴を回答しているケースもふくめて受給期間をカテゴリー化して集計を行った。

生活保護の受給期間は、特掃調査では「～6ヵ月」44.8%、シェルター調査では「～1年」25.0%が最も多い。特掃、シェルターともに、半数近くが1年未満で生活保護から外れている。

8-3. 生活保護（居宅保護）を終了した理由は、何ですか（複数回答可）

	特掃		シェルター	
	回答数	%	回答数	%
1. 就労指導が厳しい	16	26.2	2	11.1
2. 社会や地域からの孤立	3	4.9	1	5.6
3. ケースワーカーとのトラブル	6	9.8	1	5.6
4. 近所とのトラブル	6	9.8	2	11.1
5. 家賃や光熱費などを滞納した	5	8.2	0	0.0
6. 生きがいなくなった	19	31.1	2	11.1
7. その他	13	21.3	11	61.1
合計	68	111.5	19	105.6

N=61

N=18

生活保護を終了した理由は、特掃調査では「生きがいなくなった」31.1%、シェルター調査では「その他」61.1%が多くなった。シェルター調査のその他の内容として、「仕事が見つかった(就こうとした)」「働けるようになった」「治療が終了した」「引っ越したから」「ノイローゼ」「バッシング」「申し訳なさ」「なんとなく」といった回答があった。

全体的な傾向として、就労指導やケースワーカーとのトラブル、近所とのトラブルなど、人との関係によるものと考えられる。また、生きがいなくなった、ノイローゼ、申し訳なさなど、孤立からくるものも課題として挙げられる。しかし、本人としては、社会や地域からの孤立との認識は薄いのではないと思われる。

9. 生活保護（居宅保護）を受けない理由として、不安に思うことは何ですか（複数回答可）

a. 生活保護（居宅保護）を申請するときに不安に思うこと

	特掃		シェルター	
	回答数	%	回答数	%
1. 生活保護を知らない	83	15.6	5	6.8
2. 年齢が若い	104	19.5	13	17.6
3. 住民票がない	111	20.9	7	9.5
4. 年金がある	88	16.5	2	2.7
5. 仕事で収入がある	30	5.6	8	10.8
6. 土地や建物など財産がある	12	2.3	3	4.1
7. 借金がある	26	4.9	0	0.0
8. 働いた収入で暮らしたい	146	27.4	23	31.1
9. 親や兄弟に連絡がいく	76	14.3	15	20.3
10. 申請手続きが心配・めんどう	75	14.1	15	20.3
11. 役所に申請に行ったが断られた	11	2.1	1	1.4
12. 戸籍がないから	11	2.1	3	4.1
13. その他	9	1.7	15	20.3
合計	782	147.0	110	148.6

N=532

N=74

生活保護を申請する際に不安に思うことは、特掃調査では「働いた収入で暮らしたい」27.4%、「住民票がない」20.9%となり、シェルター調査では「働いた収入で暮らしたい」31.1%、「親や兄弟に連絡がいく」「申請手続きが心配・めんどう」が20.3%である。

また、「年金がある」は特掃調査16.5%に対しシェルター調査2.7%「生活保護をしらない」は特掃調査15.6%に対しシェルター調査6.8%、「仕事で収入がある」は特掃調査5.6%、シェルター調査10.8%と差があった。

全体的に働きたいという意思を持っており、それが生活保護の申請をとどまらせていると考えられる。また、生活保護を詳しく知らなかったり、手続きへの懸念があったり、あるいは年齢が若いなどそれだけでは申請できない理由にならないことが多く挙げられているなど、制度の理解度も課題である。

b. 生活保護（居宅保護）で生活するときに不安に思うこと

	特掃		シェルター	
	回答数	%	回答数	%
1. 隣や近所の人などとの人付き合いが心配・面倒	79	21.3	8	18.6
2. 就労指導などに抵抗がある	59	15.9	7	16.3
3. 周囲の目が気になる	44	11.9	7	16.3
4. 引け目を感じる	82	22.1	12	27.9
5. 監視されているような気がする	88	23.7	5	11.6
6. アルコールや金銭面などが制限される	50	13.5	8	18.6
7. 仲間や友人とのつながりがなくなる	20	5.4	2	4.7
8. 生きがいを失う	100	27.0	8	18.6
9. その他	9	2.4	7	16.3
合計	531	143.1	64	148.8

N=371 N=43

生活保護で生活するときに不安に思うことは、特掃調査では「生きがいを失う」27.0%が最も多く、次いで「監視されているような気がする」23.7%「引け目を感じる」22.1%となった。一方、シェルター調査では「引け目を感じる」27.9%が最も多く、次いで「隣や近所の人などとの人付き合いが心配・面倒」「アルコールや金銭面などが制限される」「生きがいを失う」18.6%である。

周囲の目に関するものが多く、これまでの匿名性の高い生活から監視されるのではという懸念がうかがえる。また、指導や付き合いといった、人間関係の新たな構築にも抵抗があり、人との関わり方が漠然とした心配をもたらしていると思われる。

10. ふだんの食事は、主に一日何食ですか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
1食	41	5.8	6.1	19	17.4	17.6
2食	347	48.8	51.8	55	50.5	50.9
3食	282	39.7	42.1	34	31.2	31.5
合計	670	94.2	100.0	108	99.1	100.0
無回答	41	5.8		1	0.9	
合計	711	100.0		109	100.0	

ふだんの食事は両調査とも「2食」が最も多く、特掃調査51.8%、シェルター調査50.9%である。3食とも食事がとれている割合は特掃調査42.1%、シェルター調査31.5%と特掃調査の方が多。半数ほどが2食であり、十分とはいえない。

11. 食事の準備は、主にどうされていますか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
自炊（食材を買ってきて調理する）	138	19.4	21.2	2	1.8	1.9
自炊（スーパー等で惣菜を買う）	229	32.2	35.2	49	45.0	45.4
自炊（カップ麺、インスタント麺）	121	17.0	18.6	23	21.1	21.3
外食	107	15.0	16.5	17	15.6	15.7
炊き出し	50	7.0	7.7	16	14.7	14.8
その他	5	0.7	0.8	1	0.9	0.9
合計	650	91.4	100.0	108	99.1	100.0
無回答	61	8.6		1	0.9	
合計	711	100.0		109	100.0	

普段の食事の準備は両調査とも「自炊（スーパー等で惣菜を買う）」が最も多く、特掃調査 35.2%、シェルター調査 45.4% である。また、「自炊（食材を買ってきて調理する）」はシェルター調査では 1.9% と特掃調査の 21.2% に比べ低い値を示している。反対に「炊き出し」は特掃調査が 7.7% であるの対しシェルター調査は 14.8% である。

惣菜やカップ麺、インスタント麺などが多く、偏食が危惧される。

12. ふだん、どのような所に行っていますか（複数回答可）

	特掃		シェルター	
	回答数	%	回答数	%
1. ふるさとの家	195	33.4	34	32.7
2. 西成市民館	15	2.6	10	9.6
3. ココルーム	4	0.7	0	0.0
4. 釜ヶ崎支援機構	60	10.3	6	5.8
5. 禁酒の館	117	20.1	21	20.2
6. 三徳寮談話室	89	15.3	17	16.3
7. 新今宮文庫	181	31.0	47	45.2
8. 生活サポート釜ヶ崎	3	0.5	0	0.0
9. その他の NPO や支援団体の活動拠点や相談室	5	0.9	2	1.9
10. あいりん総合センター	63	10.8	50	48.1
11. 地域のふれあい喫茶	9	1.5	0	0.0
12. 行きつけのお店	25	4.3	6	5.8
13. 公園や路上	127	21.8	27	26.0
14. 宗教関係の集まり	17	2.9	4	3.8
15. 友人・知人の家	41	7.0	5	4.8
16. 図書館	141	24.2	26	25.0
17. その他	15	2.6	7	6.7
合計	1107	189.9	262	251.9

N=583

N=104

ふだん行く場所は、特掃調査では「ふるさとの家」33.4%、「新今宮文庫」31.0%、「図書館」24.2%であった。一方、シェルター調査では「あいりん総合センター」48.1%、「新今宮文庫」45.2%、「ふるさとの家」32.7%である。「釜ヶ崎支援機構」と「あいりん総合センター」の利用には大きな差がある。

自由に入出りができ、日中を過ごすことができる場所を利用する傾向が強い。多少のコミュニケーションを求められる施設や拠点、店などは、比較的低くなる。

15. 現在、持病はありますか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
ない	371	52.2	63.5	57	52.3	52.8
ある	213	30.0	36.5	51	46.8	47.2
合計	584	82.1	100.0	108	99.1	100.0
無回答	127	17.9		1	0.9	
合計	711	100.0		109	100.0	

持病をかかえている割合は、特掃調査 36.5%、シェルター調査 47.2% である。なお、具体的な病名や症状は以下のとおりである。

- 高血圧：112 件
- ヘルニア、腰痛、関節痛、神経痛：53 件（ヘルニア、関節痛、手足のしびれ、坐骨神経痛等）
- 糖尿病：33 件
- 内臓疾患：18 件（肝炎、肝硬変、胃がん、十二指腸潰瘍等）
- 視力低下、白内障：7 件
- 呼吸器系疾患：8 件（ぜんそく、気管支炎、結核、過呼吸）
- 不整脈、狭心症：6 件
- 耳鼻、歯、皮膚の疾患：17 件
- 精神疾患：3 件
- その他：33 件

16-1. 日頃、身近な人とのつきあいがありますか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
ない	207	29.1	33.5	41	37.6	38.0
ある	410	57.7	66.5	67	61.5	62.0
合計	617	86.8	100.0	108	99.1	100.0
無回答	94	13.2		1	0.9	
合計	711	100.0		109	100.0	

身近な人とのつきあいが「ある」割合は、特掃調査 66.5%、シェルター調査 62.0% である。

16-2. あると答えた方は、どのような付き合いをしていますか（複数回答可）

	特掃		シェルター	
	回答数	%	回答数	%
1. あいさつをかわす程度	103	26.2	22	34.4
2. 立ち話をする程度	130	33.1	37	57.8
3. よく顔をあわせるが、深く立ち入らない	86	21.9	12	18.8
4. 簡単な頼みごとや物の貸し借り、おすそわけなどする	58	14.8	12	18.8
5. 困りごとの相談をしたり、助け合ったりする	54	13.7	11	17.2
6. 共通の話題や趣味について話をしたりする	98	24.9	21	32.8
7. その他	2	0.5	6	9.4
合計	531	135.1	121	189.1

N=393

N=64

付き合いがある人の付き合い方は、特掃調査では「立ち話をする程度」33.1%、「あいさつをかわす程度」26.2% となり、シェルター調査では「立ち話をする程度」57.8%、「あいさつをかわす程度」34.4% である。シェルター調査の方があいさつや立ち話といった軽い関わりの回答が多い。

相対的に、特掃利用者が、困りごとを相談したり趣味で交流したりするなど、人間関係を築いている傾向がある。これは、月に何度か仕事が輪番で回ってきてくることで、顔見知りができる状況にあることが一因と思われる。シェルター利用者も困りごとや趣味でのつながりがある結果となり、ランダムに割り振られる環境でも関係を築いている可能性がある。しかし、あいさつをかわす、立ち話をするなどの細かい関係性が多いのもシェルターの特徴である。これは輪番でなく仲間として固まりにくく、また会話にもつながりにくいシェルターの環境が起因しているとも考えることもできる。

17-1. 現在、何か困っていることや不安なことはありますか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
ない	237	33.3	38.3	53	48.6	49.1
ある	343	48.2	55.5	50	45.9	46.3
わからない	38	5.3	6.1	5	4.6	4.6
合計	618	86.9	100.0	108	99.1	100.0
無回答	93	13.1		1	0.9	
合計	711	100.0		109	100.0	

不安に思っていることや困りごとがある割合は、「特掃調査」55.5%、「シェルター調査」46.3%である。ほぼ半数が何かしらの不安を持っている。

17-2. 「ある」と答えた方は、どのような困りごとですか（複数回答可）

	特掃		シェルター	
	回答数	%	回答数	%
1. 健康に関すること	147	43.9	17	34.0
2. お金のこと	184	54.9	28	56.0
3. 血縁者との関係に関すること	36	10.7	2	4.0
4. 日々の生活に密着したこと	35	10.4	4	8.0
5. 人付き合いに関すること	24	7.2	3	6.0
6. 近所や地域のこと	13	3.9	0	0.0
7. 将来のこと	86	25.7	11	22.0
8. 死に関すること	31	9.3	1	2.0
9. お酒やギャンブルのこと	26	7.8	2	4.0
10. その他	6	1.8	9	18.0
合計	588	175.5	77	154.0

N=335

N=50

困りごとの内容として両調査とも「お金のこと」が最も多く、特掃調査 54.9%、シェルター調査 56.0% である。次いで「健康に関すること」が特掃調査 43.9%、シェルター調査 34.0% であった。

生活保護の申請や利用後の心配ごととして挙がっていた人との付き合いに関する項目は低く、まずはお金が足りていない現状と、自らの身体について、そして漠然と将来を不安視するかたちとなっている。

19. 親族とのつながり（電話や手紙、メールなどのやりとり）はありますか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
連絡先を知らない、やりとりもない	224	31.5	40.6	57	52.3	54.8
連絡先は知っているが、やりとりはない	232	32.6	42.0	33	30.3	31.7
やりとりがある	96	13.5	17.4	14	12.8	13.5
合計	552	77.6	100.0	104	95.4	100.0
無回答	159	22.4		5	4.6	
合計	711	100.0		109	100.0	

親族とのつながりで「やりとりがある」割合は、特掃調査 17.4%、シェルター調査 13.5% である。「連絡先を知らない、やりとりもない」が特掃で 4 割、シェルターで 5 割と、親族関係が希薄な人が多い。

20. 今後、親族と連絡をとりたいと思いますか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
思う	185	26.0	32.3	32	29.4	30.5
思わない	387	54.4	67.7	73	67.0	69.5
合計	572	80.5	100.0	105	96.3	100.0
無回答	139	19.5		4	3.7	
合計	711	100.0		109	100.0	

親族と連絡をとりたいと「思わない」割合が、特掃調査 67.7%、シェルター調査 69.5% と高くなった。

21. 年齢はおいくつですか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
50歳未満	5	0.7	0.8	12	11.0	11.4
55～60歳未満	74	10.4	12.2	13	11.9	12.4
50～55歳未満	0	0.0	0.0	15	13.8	14.3
60～65歳未満	190	26.7	31.4	23	21.1	21.9
65歳以上	336	47.3	55.5	42	38.5	40.0
合計	605	85.1	100.0	105	96.3	100.0
無回答	106	14.9		4	3.7	
合計	711	100.0		109	100.0	

特掃調査では「65歳以上」が55.5%と半数以上を占め、平均年齢は65.4歳である。またシェルター調査では「65歳以上」40.0%、「60～65歳未満」21.9%、平均年齢60.5歳となった。

22. 釜ヶ崎にはじめて来たのはいつごろですか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
30歳未満	90	12.7	17.2	18	16.5	20.9
30～40歳未満	102	14.3	19.5	26	23.9	30.2
40～50歳未満	116	16.3	22.1	16	14.7	18.6
50～60歳未満	148	20.8	28.2	17	15.6	19.8
60歳以上	68	9.6	13.0	9	8.3	10.5
合計	524	73.7	100.0	86	78.9	100.0
無回答	187	26.3		23	21.1	
合計	711	100.0		109	100.0	

はじめて釜ヶ崎にきた時期は、特掃調査では「50～60歳未満」28.2%、「40～50歳未満」22.1%となり、シェルター調査では「30～40歳未満」30.2%、「30歳未満」20.9%で、シェルター調査の方が比較的若いときに、初めて釜ヶ崎に来ていることがわかる。

23-1. 野宿の経験はありますか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
ない	161	22.6	28.0	24	22.0	22.4
ある	415	58.4	72.0	83	76.1	77.6
合計	576	81.0	100.0	107	98.2	100.0
無回答	135	19.0		2	1.8	
合計	711	100.0		109	100.0	

野宿経験が「ある」割合は、特掃調査 72.0%、シェルター調査 77.6% である。

23-2. 一番最近、野宿（路上や公園など）をしたのはいつごろですか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
50 歳未満	49	6.9	16.2	8	7.3	26.7
50 ～ 55 歳未満	63	8.9	20.8	3	2.8	10.0
55 ～ 60 歳未満	78	11.0	25.7	5	4.6	16.7
60 ～ 65 歳未満	79	11.1	26.1	6	5.5	20.0
65 歳以上	34	4.8	11.2	8	7.3	26.7
合計	303	42.6	100.0	30	27.5	100.0
野宿経験なし	161	22.6		24	22.0	
無回答	247	34.7		55	50.5	
合計	711	100.0		109	100.0	

野宿経験がある人で 1 番最近野宿した時期は、特掃調査が「60 ～ 65 歳未満」26.1%、「55 ～ 60 歳未満」25.7%、シェルター調査が「50 歳未満」26.7%、「65 歳以上」26.7% である。

24. 最後に卒業した学校はどれですか

	特掃			シェルター		
	度数	%	有効%	度数	%	有効%
小卒	11	1.5	1.8	1	0.9	0.9
中卒	294	41.4	48.7	52	47.7	48.6
高卒	242	34.0	40.1	47	43.1	43.9
短大・専門学校卒	23	3.2	3.8	3	2.8	2.8
大学以上卒	33	4.6	5.5	3	2.8	2.8
その他	1	0.1	0.2	1	0.9	0.9
合計	604	85.0	100.0	107	98.2	100.0
無回答	107	15.0		2	1.8	
合計	711	100.0		109	100.0	

学歴は両調査とも「中卒」「高卒」の割合が高く、順に特掃調査 48.7%、40.1%、シェルター調査 48.6%、43.9% である。

II クロス集計

1. 年齢別にみる、したい仕事・できる仕事

特掃調査

	50歳未満		50～55歳未満		55～60歳未満		60～65歳未満		65歳以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 内職	1	20.0%	0	0.0%	3	4.2%	12	6.9%	12	3.9%	28	5.1%
2. 農作業	1	20.0%	0	0.0%	4	5.6%	24	13.9%	22	7.2%	51	9.2%
3. 清掃作業	4	80.0%	0	0.0%	35	49.3%	85	49.1%	163	53.4%	287	51.8%
4. 除草作業	2	40.0%	0	0.0%	14	19.7%	49	28.3%	71	23.3%	136	24.5%
5. リサイクル業	1	20.0%	0	0.0%	12	16.9%	29	16.8%	38	12.5%	80	14.4%
6. 表現・芸術	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	3.5%	3	1.0%	10	1.8%
7. 飲食	1	20.0%	0	0.0%	5	7.0%	6	3.5%	9	3.0%	21	3.8%
8. ものづくり	1	20.0%	0	0.0%	3	4.2%	7	4.0%	16	5.2%	27	4.9%
9. その他軽作業	1	20.0%	0	0.0%	12	16.9%	36	20.8%	53	17.4%	102	18.4%
10. できない	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	13	7.5%	14	4.6%	28	5.1%
11. その他	1	20.0%	0	0.0%	6	8.5%	3	1.7%	11	3.6%	21	3.8%
合計	5		0		71		173		305		554	

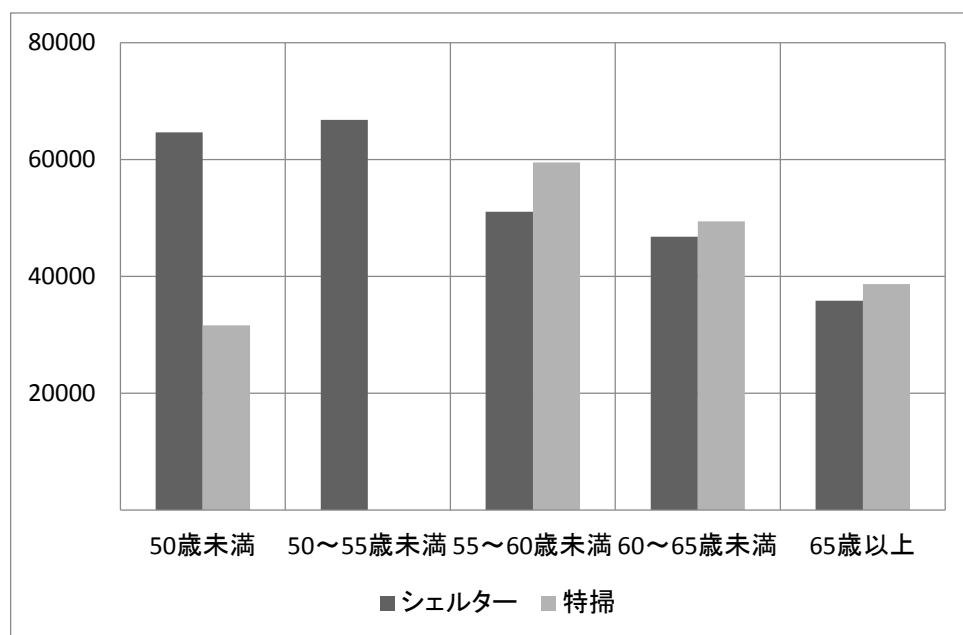
各年代で「清掃作業」が高い値を示している。次いで「除草作業」が「55～60歳未満」19.7%、「60～65歳未満」28.3%、「65歳以上」23.3%となっている。

シェルター調査

	50歳未満		50～55歳未満		55～60歳未満		60～65歳未満		65歳以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 内職	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	2	4.9%	3	3.1%
2. 農作業	2	18.2%	1	8.3%	1	8.3%	1	5.0%	3	7.3%	8	8.3%
3. 清掃作業	1	9.1%	2	16.7%	2	16.7%	11	55.0%	16	39.0%	32	33.3%
4. 除草作業	0	0.0%	1	8.3%	1	8.3%	4	20.0%	2	4.9%	8	8.3%
5. リサイクル業	1	9.1%	2	16.7%	3	25.0%	2	10.0%	5	12.2%	13	13.5%
6. 表現・芸術	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	15.0%	1	2.4%	4	4.2%
7. 飲食	1	9.1%	2	16.7%	0	0.0%	1	5.0%	2	4.9%	6	6.3%
8. ものづくり	3	27.3%	0	0.0%	3	25.0%	0	0.0%	2	4.9%	8	8.3%
9. その他軽作業	2	18.2%	2	16.7%	3	25.0%	8	40.0%	8	19.5%	23	24.0%
10. できない	1	9.1%	1	8.3%	1	8.3%	1	5.0%	11	26.8%	15	15.6%
11. その他	3	27.3%	4	33.3%	3	25.0%	5	25.0%	4	9.8%	19	19.8%
合計	11		12		12		20		41		96	

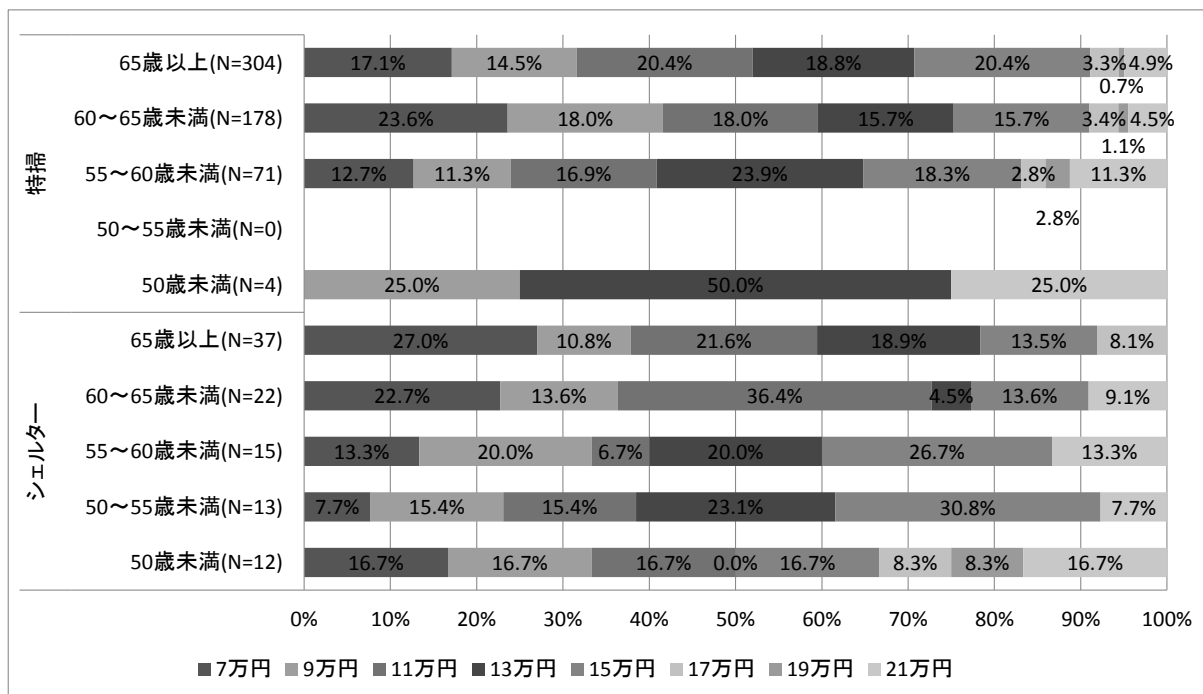
「50歳未満」では「ものづくり」が27.3%、「50～55歳未満」では「リサイクル業」「飲食」「その他軽作業」が16.7%となり、「55～60歳未満」では「リサイクル業」「ものづくり」「その他軽作業」25.0%であった。また、「60～65歳未満」「65歳以上」では「清掃作業」の値が最も高く、それぞれ55.0%、39.0%である。ただ、65歳以上では「できない」という回答が26.8%あった。

2. 年齢別にみる、平均勤労収入



「50歳未満」ではシェルター調査が約30,000円ほど高くなっているのに対し、60歳を超えると若干ではあるが特掃調査の金額が高い。

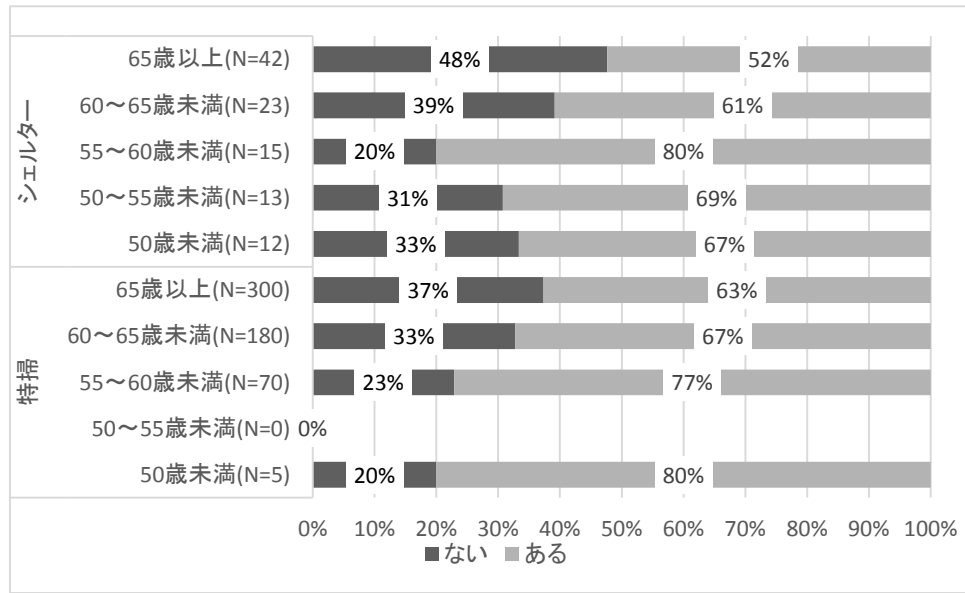
3. 年齢別にみる希望収入



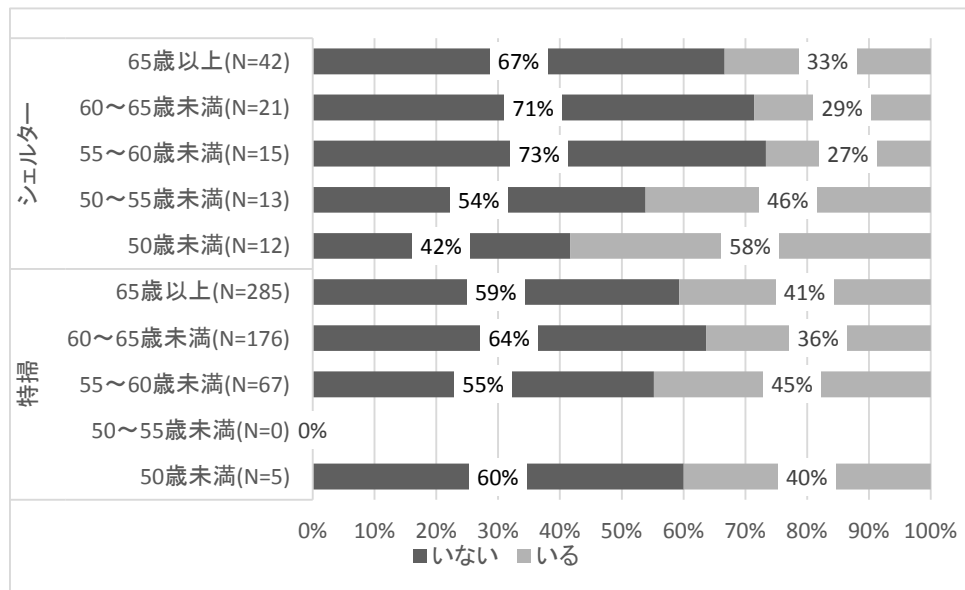
特掃調査においては、「60～65歳未満」で「7万円」の値が23.6%と高くなっているが、「50歳未満」と「55～60歳未満」では「13万円」がそれぞれ50.0%、23.9%と最も高く、「65歳以上」では「11万円」と「15万円」がともに20.4%となった。

また、シェルター調査では「50～55歳未満」と「55～60歳未満」で「15万円」がそれぞれ30.8%、26.7%と高くなり、「60～65歳未満」では「11万円」が36.4%、「65歳以上」では「7万円」が27.0%となった。

4. 人付き合いについて



身近な人との付き合いでは、両調査においてすべての年代で半数以上が身近な人付き合いがあることがわかる。



また、困り事があった際に相談できる人については、特掃調査ではすべての年代で約6割が「いない」と回答した。またシェルター調査では55歳以上の世代で約7割、「50～55歳未満」で約6割が「いない」と回答したが、「50歳未満」では約6割が「いる」と回答している。

	16-1. 身近な人とのつきあい	18-1. 困りごとがあった時に相談できる人					
		いない		いる		合計	
特掃	ない	155	83.3%	31	16.7%	186	100.0%
	ある	183	47.5%	202	52.5%	385	100.0%
	合計	338	59.2%	233	40.8%	571	100.0%
シェルター	ない	32	78.0%	9	22.0%	41	100.0%
	ある	36	55.4%	29	44.6%	65	100.0%
	合計	68	64.2%	38	35.8%	106	100.0%

特掃調査では身近な人との付き合いがある人の内、52.5%が困り事があつた際に相談できる人がいると回答した。また、シェルター調査では身近な人付き合いの有無にかかわらず、困りごとの際に相談できる人がいない割合が高くなった。

5. 健康状態

	14. 健康状態	15. 現在、持病はありますか					
		ない		ある		合計	
特掃	よい	75	83.3%	15	16.7%	90	100.0%
	ふつう	253	66.6%	127	33.4%	380	100.0%
	あまりよくない	20	33.9%	39	66.1%	59	100.0%
	よくない	8	23.5%	26	76.5%	34	100.0%
	合計	356	63.2%	207	36.8%	563	100.0%
シェルター	よい	23	74.2%	8	25.8%	31	100.0%
	ふつう	25	54.3%	21	45.7%	46	100.0%
	あまりよくない	4	22.2%	14	77.8%	18	100.0%
	よくない	5	38.5%	8	61.5%	13	100.0%
	合計	57	52.8%	51	47.2%	108	100.0%

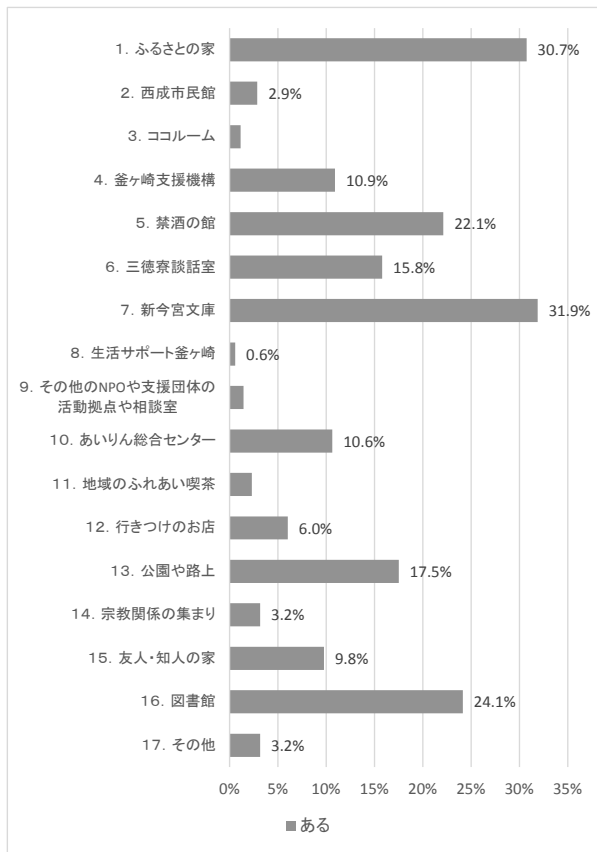
両調査において、最近の健康状態が「あまりよくない」「よくない」と回答した人の内、6割以上が何らかの持病を抱えていることがわかる。また、「ふつう」と回答している人でも特掃調査では約3割、シェルター調査では約4割が持病を抱えている。

6. 身近な人付き合いにみる居場所

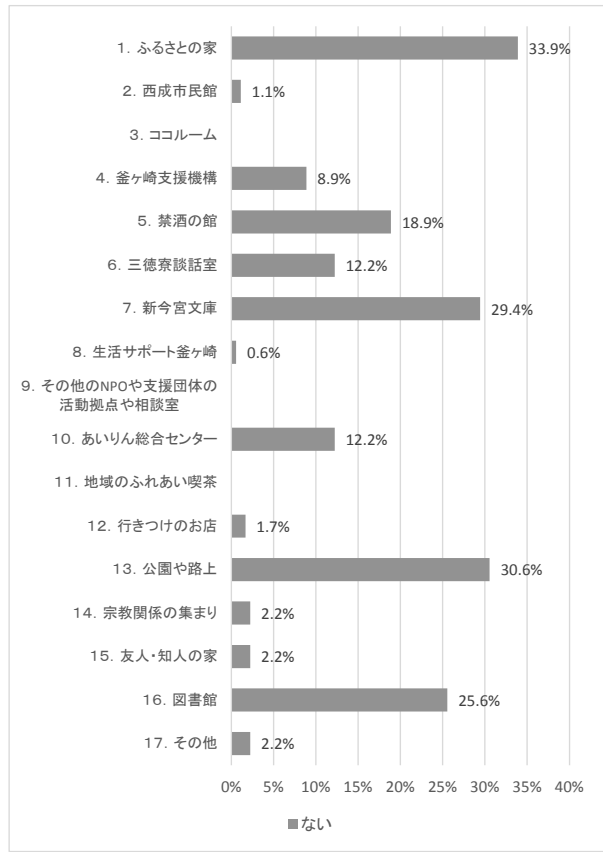
日頃、身近な人との付き合いが「ある」人と「ない」人でよく行く場所を比較する。

特掃調査

付き合いが「ある」グループ

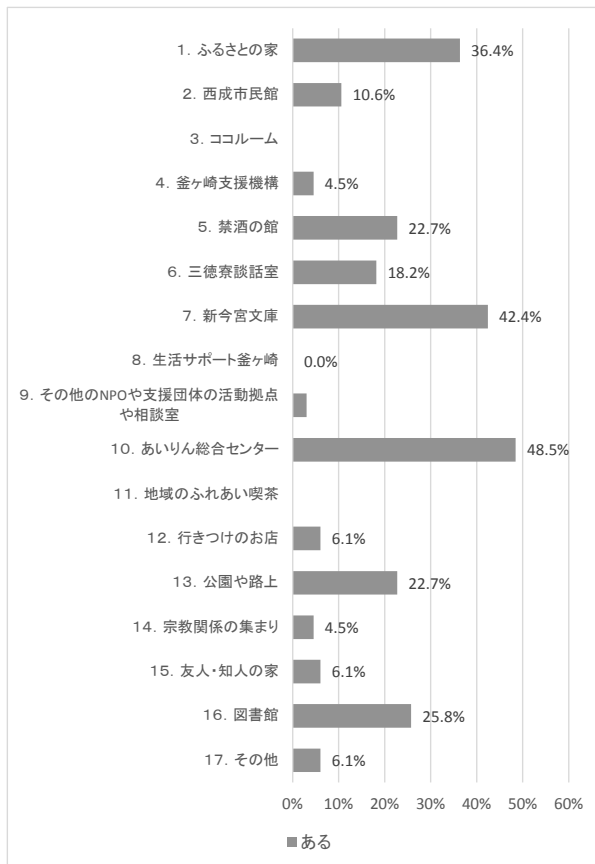


付き合いが「ない」グループ

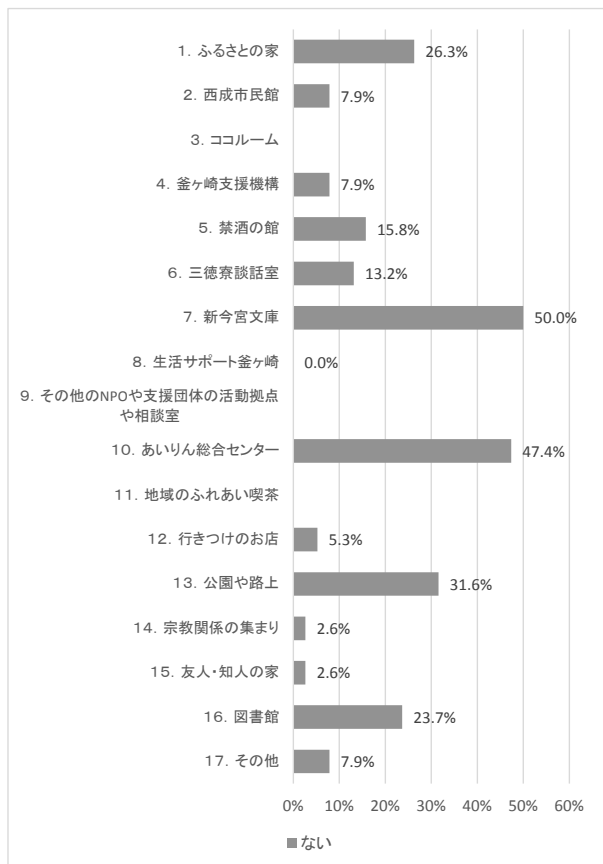


シェルター調査

付き合いが「ある」グループ



付き合いが「ない」グループ



両調査それぞれで、ふだん行く場所の傾向は似通っている。共通の傾向として身近な付き合いが「ない」グループの方が「公園や路上」にいる傾向にある。またシェルター調査では、付き合いが「ある」グループの方が「ふるさとの家」を利用している割合が高い。

5. 現在、仮に仕事ができるとすればどのような仕事をしたいですか。あるいはどのような仕事ならできるとおもいますか（複数回答可）

1. 内職 2. 農作業 3. 清掃作業 4. 除草作業
5. リサイクル業（アルミ缶・家電収集、自転車リサイクルなど）
6. 表現・芸術 7. 飲食（喫茶店・居酒屋） 8. ものづくり（手工芸や大工仕事など）
9. その他軽作業 10. できない
11. その他（具体的に：_____）

6. ここ1ヵ月で、仕事以外の収入はありますか（複数回答可）

- a. 年金（_____円/月）
b. 生活保護（_____円/月）
c. その他（具体的に：_____）（_____円/月）

7. いま、全体でどのくらいの収入があれば、野宿の心配をせずに暮らせると思いますか

※表、当てはまる番号に○をお願いいたします。

1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
7万円	9万円	11万円	13万円	15万円	17万円	19万円	21万円

生活保護（居宅保護）についてお伺いします

8-1. 生活保護（居宅保護）を受給し、地域（アパート等）で生活したことはありますか

1. なし → 「なし」と答えた場合は設問9へ 2. ある

8-2. 生活保護（居宅保護）を受けたことがあるのは、いつですか（複数回答可）

1. 開始：_____年_____月～終了：_____年_____月
2. 開始：_____年_____月～終了：_____年_____月
3. 開始：_____年_____月～終了：_____年_____月

8-3. 生活保護（居宅保護）を終了した理由は、何ですか（複数回答可）

1. 就労指導が厳しい 2. 社会や地域からの孤立
3. ケースワーカーとのトラブル 4. 近所とのトラブル
5. 家賃や光熱費などを滞納した 6. 生きがいがなくなった
7. その他（_____）

9. 生活保護（居宅保護）を受けない理由として、不安に思うことは何ですか

- a. 生活保護（居宅保護）を申請するときに不安に思うこと（複数回答可）
1. 生活保護を知らない 2. 年齢が若い 3. 住民票がない

4. 年金がある 5. 仕事で収入がある 6. 土地や建物など財産がある
 7. 借金がある 8. 働いた収入で暮らしたい 9. 親や兄弟に連絡がいく
 10. 申請手続きが心配・めんどう 11. 役所に申請に行ったが断られた
 12. 戸籍がないから 13. その他 (_____)

b. 生活保護（居宅保護）で生活するとき不安に思うこと（複数回答可）

1. 隣や近所の人などとの人付き合いが心配・面倒 2. 就労指導などに抵抗がある
 3. 周囲の目が気になる 4. 引け目を感じる 5. 監視されているような気がする
 6. アルコールや金銭面などが制限される 7. 仲間や友人とのつながりがなくなる
 8. 生きがいを失う 9. その他 (_____)

ふだんの生活についてお伺いします

10. ふだんの食事は、主に一日何食ですか

1. 1食 2. 2食 3. 3食

11. 食事の準備は、主にどうされていますか

1. 自炊（食材を買ってきて調理する） 2. 自炊（スーパー等で惣菜を買う）
 3. 自炊（カップ麺、インスタント麺） 3. 外食 4. 炊き出し
 5. その他 (_____)

12. ふだん、どのような所に行っていますか（複数回答可）

1. ふるさとの家 2. 西成市民館 3. ココルーム 4. 釜ヶ崎支援機構
 5. 禁酒の館 6. 三徳寮談話室 7. 新今宮文庫 8. 生活サポート釜ヶ崎
 9. その他のNPOや支援団体の活動拠点や相談室（具体的に： _____）
 10. あいりん総合センター（具体的にどの場所ですか： _____）
 11. 地域のふれあい喫茶 12. 行きつけのお店 13. 公園や路上
 14. 宗教関係の集まり 15. 友人・知人の家 16. 図書館
 17. その他（具体的に： _____）

13. ここ1ヵ月の宿泊場所は、どこになりますか（複数回答可）

1. 簡易宿泊所（ドヤ） 2. シェルター 3. 野宿（公園） 4. 野宿（路上）
 5. 施設 6. 病院 7. 飯場や会社の寮 8. アパート 9. ネットカフェ等
 10. 知人・親戚宅 11. その他 (_____)

14. 最近（ここ2～3ヶ月）の健康状態はどうですか

1. よい 2. ふつう 3. あまりよくない
 4. よくない（具体的に： _____）

15. 現在、持病はありますか

1. ない 2. ある（具体的な病名や症状：_____）

16-1. 日頃、身近な人とのつきあいはありますか

1. ない →「ない」と答えた場合は設問 17へ 2. ある

16-2. あると答えた方は、どのような付き合いをしていますか（複数回答可）

1. あいさつをかわす程度 2. 立ち話をする程度
3. よく顔をあわせるが、深く立ち入らない
4. 簡単な頼みごとや物の貸し借り、おすそわけなどする
5. 困りごとの相談をしたり、助け合ったりする
6. 共通の話題や趣味について話をしたりする
7. その他（_____）

17-1. 現在、何か困っていることや不安なことはありますか

1. ない 2. ある 3. わからない →「1. ない」「3. わからない」と答えた場合は設問 18へ

17-2. 「ある」と答えた方は、どのような困りごとですか（複数回答可）

1. 健康に関すること 2. お金のこと 3. 血縁者との関係に関すること
4. 日々の生活に密着したこと 5. 人付き合いに関すること
6. 近所や地域のこと 7. 将来のこと 8. 死に関すること
9. お酒やギャンブルのこと 10. その他（_____）

18-1. 困りごとがあった時に相談できる人はいますか

1. いない →「いない」と答えた場合は設問 19へ 2. いる

18-2. 「いる」と答えた方は、具体的にはどのような人ですか（複数回答可）

1. 親 2. 兄妹姉妹 3. 子 4. 親戚 5. 近所の人 6. 友人・知人
7. 福祉事務所のケースワーカー 8. NPOなどの支援団体の職員やボランティア
9. かかりつけの医師 10. 特掃・シェルターの職員
11. 特掃・シェルターで知り合った利用者やボランティア
12. その他（_____）

19. 親族とのつながり（電話や手紙、メールなどのやりとり）はありますか

1. 連絡先を知らない、やりとりもない 2. 連絡先は知っているが、やりとりはない
3. やりとりがある

20. 今後、親族と連絡をとりたいと思いますか

1. 思う 2. 思わない

その他のことや、今後の希望についてお伺いします

21. 年齢はおいくつですか。

_____年_____月生まれ または_____歳

22. 釜ヶ崎にはじめて来たのはいつごろですか

_____年_____月 または_____歳のころ

23-1. 野宿の経験はありますか

1. ない →「ない」と答えた場合は設問24へ 2. ある

23-2. 一番最近、野宿（路上や公園など）をしたのはいつごろですか

_____年_____月 または_____歳のころ

24. 最後に卒業した学校はどれですか

1. 小卒 2. 中卒 3. 高卒
4. 短大・専門学校卒 5. 大学以上卒 6. その他（_____）

25. これからの暮らしや仕事について、問題や希望はありますか（自由回答）

アンケートのご協力、ありがとうございました。

2015年 高齢者特別清掃事業登録者及びあいりんシェルター利用者調査報告書

2016年12月

NPO 法人 釜ヶ崎支援機構

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋1丁目5番4号

TEL：06-6630-6060 FAX：06-6630-9777

<http://www.npokama.org/>